

防虫ネットの効果確認試験

JA新しのつ

丸山 倫史



設置状況



粘着テープ設置状況

試験目的

トルコギキョウにおける赤色防虫ネットによる微小害虫の防除効果確認

試験作物及び品種

トルコギキョウ

試験資材及び数量(規格)

サンサンネット(クロスレッド) 0.8mm目合い XR-2700
1.5×80m 2本

慣行資材

なし

栽培方法

定植日
6月5日
【栽植密度】 24,500株/10a

資材使用期間

6月5日～収穫終了まで

試験区面積

300㎡



試験結果

(1) 作業性について(慣行品との比較)

特に問題はなかった。

(2) 作物の生育状況または、収穫への影響

防虫ネット使用区は、僅かに生育が良い傾向にあった。

(3) 栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】 本年はスリップスが少発生のため、期待した効果が確認できなかったものの、慣行区と比較して明らかに微小害虫の数は少ないように感じた。

【問題点】 防虫ネット無しと比較してハウス内温度が上昇する点。

(4) 資材の強度・耐久性・崩壊性について

資材の耐久性について単年度の試験では問題なかった。価格面から最低でも3年以上の耐久性が欲しい。

(5) 雑草・病害虫の発生について

スリップスの発生が少なかったものの、微小害虫の発生は試験区>>慣行区(防虫ネット無)だった。

モニター感想

スリップスに対する効果は判然としなかったものの、微小害虫の侵入は明らかに少なかった。防虫ネット設置によりハウス内温度の上昇があったが、作物の生育に影響はなく、温度上昇による作業性悪化も思ったほどではなかった。今回は単年度の試験結果ではある

が、ネットの耐久性(退色含む)が何年あるのかによって、今後の使用を考えたい。

JA担当者の感想(農業振興課 高橋 氏)

本年はスリップスの発生が少なく効果が確認できなかった。花き類(スリップス)に登録のある薬剤が少なく、防除回数も10回以上と多く防除費用がかかることが花き栽培の課題だが、本資材の使用により薬剤散布回数が減少するのであれば利点は大きいと考える。

一方、生産者の感想のとおり、費用対効果が普及に向けて重要になると考えるので、耐久性については検討が必要であると感じた。

本試験は青年部活動の一環として実施した試験ではあるが、今後も継続して実施をお願いしたい。

今後の使用について

継続して使用したい。
サンサンネット使用により、防除回数が減少するならば普及性は高い。

将来希望する資材について

スリップスを抑制できる商品が増えることを期待する。

1 農家のフィルム
2 マルチ

3 不織布

4 育苗資材

5 トンネル資材

6 防虫ネット

7 酪農資材

8 ICT機器

9 その他